

口永良部島の火山性ガス測定に関する要望書

屋久島町 町長 荒木 耕治 殿
屋久島町災害対策本部 本部長 殿

2015年1月28日

口永良部島・えらぶ年寄り組 代表 後藤 利幸



口永良部島では、火山性ガスの排出が激しく、目がチカチカしたり、喘息が激しくなるなど島民の健康障害を耳にすることが多くなりました。これらは火山噴火による災害であり、致し方のない面があるとは考えております。しかし、火山性ガスの現状把握や、対策などは万全を期し、安全や健康を守りたいと望んでおります。屋久島町には下記の点を要望します。

記

1) 二酸化硫黄ガス濃度の測定

現在、口永良部島出張所に設置されている測定器を、ガス噴気孔に最も近く島民が暮らす前田集落に移動して測定していただけないでしょうか。

2) その他の火山性ガス

硫化水素ガスや硫酸ミストなどの濃度は心配ないのでしょうか。

それらを測定していただいたのでしょうか。もしまだなら、調べていただけないでしょうか。

3) 環境基準

火山性ガスの環境基準は満たしているのでしょうか。

4) 火山性ガスの大量噴出などが起こった場合、島民が身を守るのはどうしたら良いのでしょうか。ガスマスクなど、島民や観光客は自らで用意しておくべきでしょうか。緊急時の対策はあるのでしょうか。